

つつじ・しゃくなげフェア 2023



2023年 4月下旬 ▶ 5月下旬

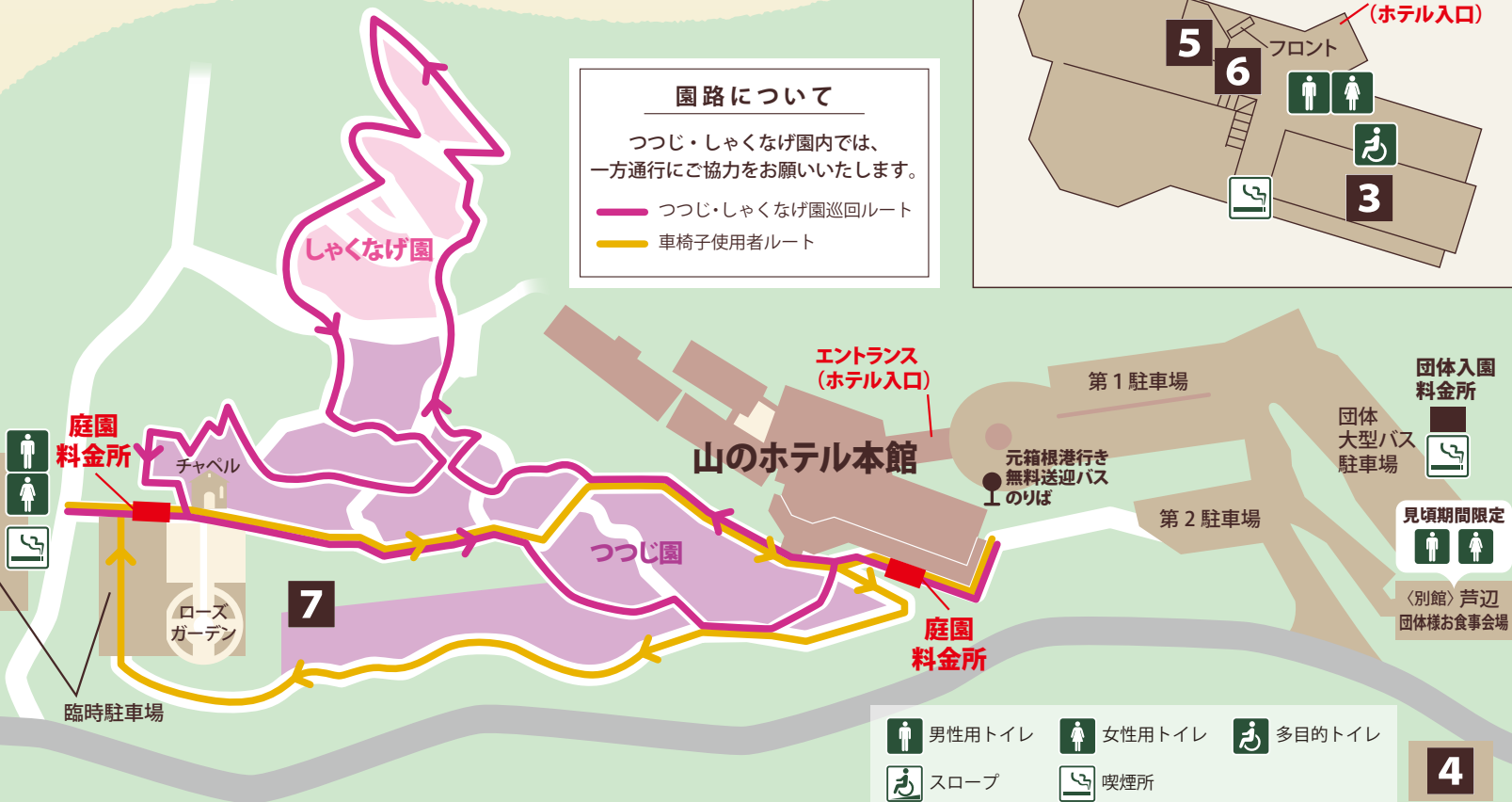
(開花状況により開催期間が変更になる場合がございます)

〔庭園見学時間〕
9:00~17:00

園路について

つつじ・しゃくなげ園内では、
一方通行にご協力をお願いいたします。

- つつじ・しゃくなげ園巡回ルート
- 車椅子使用者ルート



- 男性用トイレ
- 女性用トイレ
- 多目的トイレ
- スロープ
- 喫煙所

庭園利用時のお願い

- 園内のツツジ・シャクナゲにはお手を触れないようお願いいたします。
- 園内での飲食はできません。
- 喫煙マークの場所以外は、禁煙とさせていただきます。
※園内は、全て禁煙となります。
- 園内は、抱っこ又はキャリーバッグ、ペットバギー等の利用で、小型犬のみご同伴が可能です。リードでの歩行はご遠慮ください。
- 園内での三脚を使つての写真撮影はご遠慮ください。
- 園内で歩きながらのスマートフォンのご使用はご遠慮ください。

ホテル本館 1F



ホテル本館 2F



山のホテル開業75周年記念イベント

ホテルは5月15日(月)で開業75周年

4/26
→5/18

「遠藤桂 写真展～悠久の富士・箱根～」
箱根写真美術館の館長でありカメラマンでもある、
遠藤桂氏の写真展。

5/9

「箱根写真美術館・遠藤桂館長による
写真の撮り方セミナー」開催
遠藤桂館長によるお花と風景の上手な写真の撮り方セミナー。

5/8

「講演会 庭園のツツジとシャクナゲ」開催
ツツジ・シャクナゲ研究者の倉重祐二氏によるホテルの庭園についての講演会。

詳細はこちら



お食事・販売・展示のご案内

1 〈ホテル本館 1F〉 ラウンジ・バー

〔営業時間〕9:30~
ラウンジテラス席は、ワンちゃんと一緒にご利用いただけます。

2 〈ホテル本館 1F〉 フランス料理「ヴェル・ボワ」

〔ランチ〕11:30~14:00 (L.O.)
※4/30までと5/16からは 13:30 (L.O.) となります。

3 〈ホテル本館 2F〉 日本料理「つつじの茶屋」

〔ランチ〕11:30~14:00 (L.O.)
※4/30までと5/16からは 13:30 (L.O.) となります。

4 〈別館〉プレミアムショップ & サロン・ド・テ ロザージュ

1Fはスイーツ、厳選紅茶を。2Fはオリジナル紅茶をはじめ、ティータイムを楽しむグッズなどを取り揃えています。
〔営業時間〕11:00~16:00 (L.O.)

5 〈ホテル本館 2F〉 「SHOP」

山のホテルオリジナル商品や箱根の名産品をご用意しています。

6 川瀬巴水(かわせはすい)の版画展示

岩崎男爵が風景版画の第一人者である川瀬巴水氏に依頼し、描いた別邸庭園の版画を展示しています。

7 つつじ・しゃくなげ苗木販売

〔営業時間〕10:00~16:00 (つつじ開花時のみ)



TEL.0460-83-6321



フェイスブック、インスタグラムもやってます!

ホテル公式HP





後世に残すべき植物遺産
ナショナルコレクション認定

ホテルの庭園は、この地にあった三菱財閥4代目総帥岩崎小彌太男爵の箱根別邸に由来しています。秋篠宮皇嗣殿下が総裁をお務めになる公益社団法人 日本植物園協会より後世に残すべき植物遺産として、ツツジは2022年に、シャクナゲは2023年に、それぞれ「ナショナルコレクション」に認定されました。



詳細はこちら



QRコードで花の情報を



このパンフレットに掲載されている花々には、QRコードが表示された植物看板が設置されています。スマートフォンでQRコードを読み取り、花の写真や情報をご覧ください。

ツツジ (84 種類約 3000 株)

① 八重げら



江戸キリシマ系の赤い小さな花が特徴。庭園中央にあるこの品種の株は、庭園内で一番大きく、高さ、直径ともに3メートル以上あり、その大きさに圧倒されます。

② 難波渦



クムメツツジの一種。花は、中輪一重、淡い紅色で、花色は緑が濃く、中心に向かって白くなっています。明治初期に作出された品種です。

③ 飛鳥川



淡紅の地色に濃紅の絞りが入るオオヤマツツジ系の花。関東の古い庭園に稀に栽培されますが、園芸的な生産はほとんどないと思われる、希少品種です。

④ 小紫



花は、中輪一重で、光沢のある紅紫色。小紫は、オオヤマツツジ系の紫色品種の総称で、かつては数品種が記録されましたが、現在では区別ができなくなりました。希少品種。

⑤ 白錦



白滝(しらたき)とも呼ばれています。中輪二重、白色。がくが不完全に花弁に変化し、縁が不規則に切れ込んだ花が咲きます。稀に関東地方の歴史ある庭園で栽培されている希少品種です。

⑥ 峰の松風



花は大輪一重で、白地に紅紫色の絞りが入りますが、絞りの数は少なく一見白花のように見えます。明治時代以降、各地の種苗会社で販売されていましたが、現在は生産されていないようです。

⑦ 紫琉球



薄紫色の大輪、一重咲き。花弁は上部の3枚の切れ目が浅く、下部の2枚と離れて見えます。ブロッツ(斑点)は濃紫。現在は、園芸的な生産はないと思われる希少品種。

⑧ 若鷺



大輪一重、薄肌色。春以外秋にも咲くことがあります。江戸時代に本品種名は見られませんが、明治から大正にかけて各地で販売されていました。歴史ある庭園に植栽されていることがある希少品種。

⑨ ゴヨウツツジ



シロヤシオとも呼ばれる、落葉低木。枝先に5枚の葉をつけ、春に下垂する白花を咲かせます。夏季冷涼な気候に生育し、敬宮愛子内親王のお印であるために話題になり、販売されました。

シャクナゲ (42 種類約 300 株)

⑩ ゴマー・ウォーター



花は大輪、白色で薄藤色が入り、ブロッツ(斑点)は黄茶色。イギリスで1900年以前に作出。本品種は、岩崎小彌太が日本に初めて導入した西洋シャクナゲとされています。

⑪ マイケル・ウォーター



花は中輪で、色は濃暗紅色。花の奥に暗色のブロッツ(斑点)があります。現在は園芸的な生産はなく、現存数も少ないため、希少な品種。イギリスで1865年頃作出されました。

⑫ ノバ・ゼンブラ



花は大輪、暗紅赤色で、濃色のブロッツが入っています。戦前から戦後にかけての赤色の代表品種で、耐寒性強いのが特徴。オランダで1902年に作出された、希少品種。

⑬ ステラ・ウォーター



花は中輪で、少し紫がかったピンク色。ブロッツは濃色で目立ちます。商業的な生産はなく、栽培も非常に少ないと思われる希少品種。イギリスで1865年以前に作出。昭和初期の日本名は「花競(はなぎそい)」。

⑭ キョウマルシャクナゲ



日本原産のシャクナゲで、長野県、静岡県、愛知県の山地に分布しています。ソクシシャクナゲの変種で、環境省絶滅危惧II類。昔は濃ピンク色ですが、咲くと淡ピンクに変化します。

⑮ フォーチュネイ



中国に分布する野生種のシャクナゲ。7枚花弁のピンクの花が咲き、葉は長い。19世紀に中国からヨーロッパに渡り、多くの園芸品種の交配親となっています。この庭園には多数の株があります。